

◎実施概要

・平成29年9月30日、倉吉市立高城小学校の全校生徒による土曜日授業の中で、倉吉河川国道事務所による天神川の過去の水害の歴史の説明、災害時に活躍する排水ポンプ車の稼働実演が行われた。また、生徒たちは照明車と災害対策本部車を見学した。

◎実施内容 ・出前講座…倉吉河川国道事務所西村河川管理課長が過去の災害の歴史などの出前講座を行った。



★5、6年生を対象に昭和9年の室戸台風をはじめとする過去の災害事例や、学校の付近を流れる国府川が氾濫した場合、校舎がどのくらい浸水するのかなど身の回りにおこる水害の危険や、垂直避難の大切さを解説した。また平成28年の水質調査において、小鴨川が水質日本一となった事を紹介した。

・排水ポンプ車稼働実演…出前講座のあと、全校児童が学校のプールを使って実際に排水ポンプが水を排水する場面を見学した。



★小学校の2つのプールを使い、大プールから小プールに排水ポンプ2台で実際に水を排水する状況を全校児童で見学した。児童たちは初めて見るポンプの排水に興味深く見学した。ポンプを稼働すると小プールの水がすぐに溢れてしまい、ポンプの能力に驚き、児童たちは活発に質問していた。また、業者の人たちに対する感謝の言葉もあった。

★5、6年生を対象に災害対策本部車と照明車の見学を行った。災害対策本部車には、実際に乗車して見て、内部の広さに驚いていた。